



一般社団法人 日本環境感染学会

Japanese Society for Infection Prevention and Control

# JSIPC 災害時感染制御支援チーム (DICT) とは何か

櫻井 滋

日本環境感染学会 災害時感染制御検討委員会  
岩手医科大学附属病院 感染制御部

いわて感染制御支援チーム (ICAT)



一般社団法人 日本環境感染学会

Japanese Society for Infection Prevention and Control



いわて感染制御支援チーム (ICAT)

# 大規模自然災害と感染対策

( 環境感染学会の取り組み)



# DICTとは

- 避難施設等における感染制御活動を支援するために JSIPCが主体となって感染制御の実務経験者により編成される職能集団
- 感染制御に関する専門的研修や教育を受け、専門団体が認定する資格を有していることが望ましい
- 災害の急性期（概ね 48 時間以内）に活動開始可能な災害時感染制御チーム

# DICT ユニットの構成

- 4名を基本とする。
  - 感染制御医（ICD）1名
  - 感染管理認定看護師（CNIC）1ないし2名

および

- 感染制御専門または感染制御認定薬剤師（ICPS, PCI）
- 感染制御認定微生物検査技師（ICMT）
- ICT 経験のある歯科医師（ICDD）1名
- 業務調整員 1名

# DICT ユニットの活動内容

- **本部活動**：連絡・指揮調整が主体
  - 情報収集・調査活動 → 支援の必要性を判断し、DICT派遣を計画
- **保健医療調整本部支援活動**：相談（コンサルテーション）・調整
  - 広域 ICT 支援活動 → 全国医療機関・現地ICTからの相談に応じ、  
現地のICTを支援
  - 医療機関 ICT 支援活動 → 被災した医療機関のICTを支援
- **被災現地 ICTの支援活動**
  - **避難施設におけるICT活動支援** → DICTの主たる目的（集団感染の抑制）
  - 現地ICTに対する後方支援活動 → 被災地のICTを技術的・物的に支援
  - 衛生資材ロジスティクス → 被災地のICT支援に特化した資機材の斡旋

# 災害時の感染リスク

DICTには、何が期待されているか

— 集団感染リスクの軽減 —

外傷等による  
一次感染リスク



避難所における  
集団感染リスク



移送に伴う  
二次感染リスク

个人防护具の不足  
に関連する患者・  
職業感染リスク

集団生活における  
呼吸器感染リスク  
〔隔離用スペース〕

个人防护具の不足に  
関連する  
職業感染リスク

个人防护具と消毒剤  
用水不足に起因する  
医療関連感染リスク

飲料水枯渇による  
水系感染リスク  
〔飲料水供給〕

个人防护具と消毒剤  
用水不足に起因する  
医療関連感染リスク

診断検査手段の  
不足に関連する  
医療関連感染リスク

大量調理における  
消化器感染リスク  
〔衛生的食料供給〕

事前診断情報不足に  
関連する空気・飛沫  
感染リスク

毀損された医療環境  
と抗菌薬多用に関連  
する多剤耐性菌感染  
リスク

生活用水枯渇による  
排泄物・廃棄物関連  
感染リスク  
〔生活用水供給〕

患者の同時大量発生  
に伴う後方医療機関  
へのサージ（負荷）

外傷等による  
一次感染リスク



避難所における  
集団感染リスク



移送に伴う  
二次感染リスク

個人防護具の不足  
に関連する患者・  
職業感染リスク

集団生活における  
呼吸器感染リスク  
〔隔離用スペース〕

個人防護具の不足に  
関連する  
職業感染リスク

**医療提供 =  
災害救助法の領域**

**衛生・予防医学 =  
保健行政の領域**

用水不足に起因する  
医療関連感染リスク

飲料水枯渇  
水系感染リスク  
〔飲料水供給〕

個人防護具と消毒剤  
用水不足に起因する  
医療関連感染リスク

診断検査手段の  
不足に関連する  
医療関連感染リスク

大量調理における  
消化器

**保健行政（地方自治  
体・保健師等）への  
過大な負荷**

個人防護具と消毒剤  
情報不足に  
関連する  
感染リスク

毀損された医療環境  
と抗菌薬多用に関連  
する多剤耐性菌感染  
リスク

牛乳  
感  
リスク  
〔生活用水供給〕

患者の同時大量発生  
に伴う後方医療機関  
へのサージ（負荷）



# 日本環境感染学会の対応（1）

（大規模自然災害の被災地における感染制御マネージメントの手引き）

## 大規模自然災害の被災地における 感染制御マネージメントの手引き

アドホック委員会 被災地における感染対策に関する検討委員会報告



一般社団法人 日本環境感染学会  
Japanese Society for Infection Prevention and Control

### 第4章 被災地と支援側、双方向の感染症情報伝達に関する事項

- ① 一般的な自治体の感染症情報伝達システムについて
- ② 東日本大震災の被災地における感染症情報伝達について
  1. 保健行政支援者から見た感染症発生情報伝達
  2. 石巻医療圏合同救護チームの感染症発生情報伝達
  3. いわて感染制御支援チームの活動経験と常設化

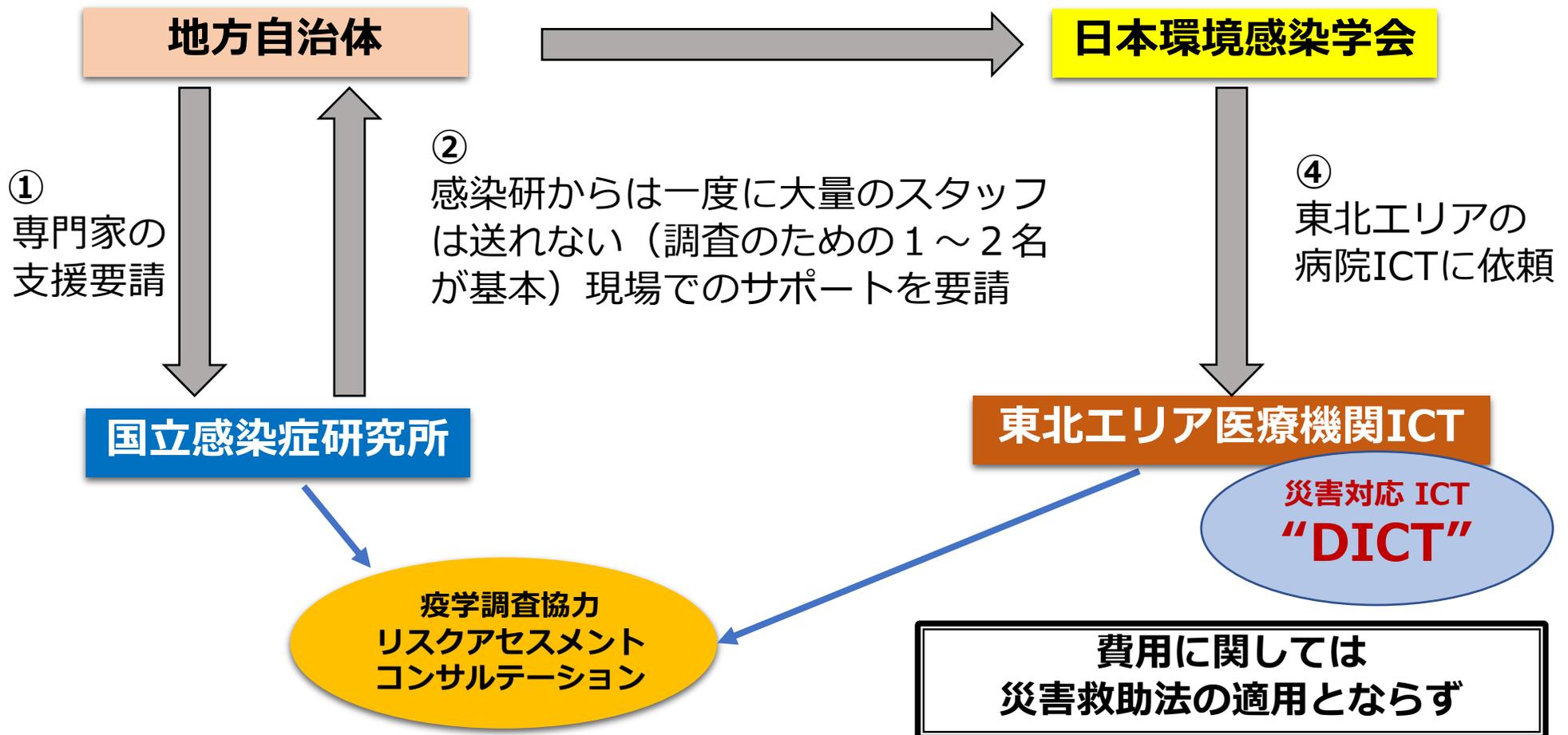
### 第5章 避難所および救護所、後方搬送における感染制御に関する事項

- ① 避難所における感染管理と予防の考え方
- ② 救護所および臨時医療施設（ACS）における感染制御の考え方
- ③ 被災地あるいは支援医療機関における感染症関連検査について
- ④ 被災地あるいは支援医療機関における薬剤師の役割について
- ⑤ 被災地から後方医療施設への傷病者搬送と感染リスク

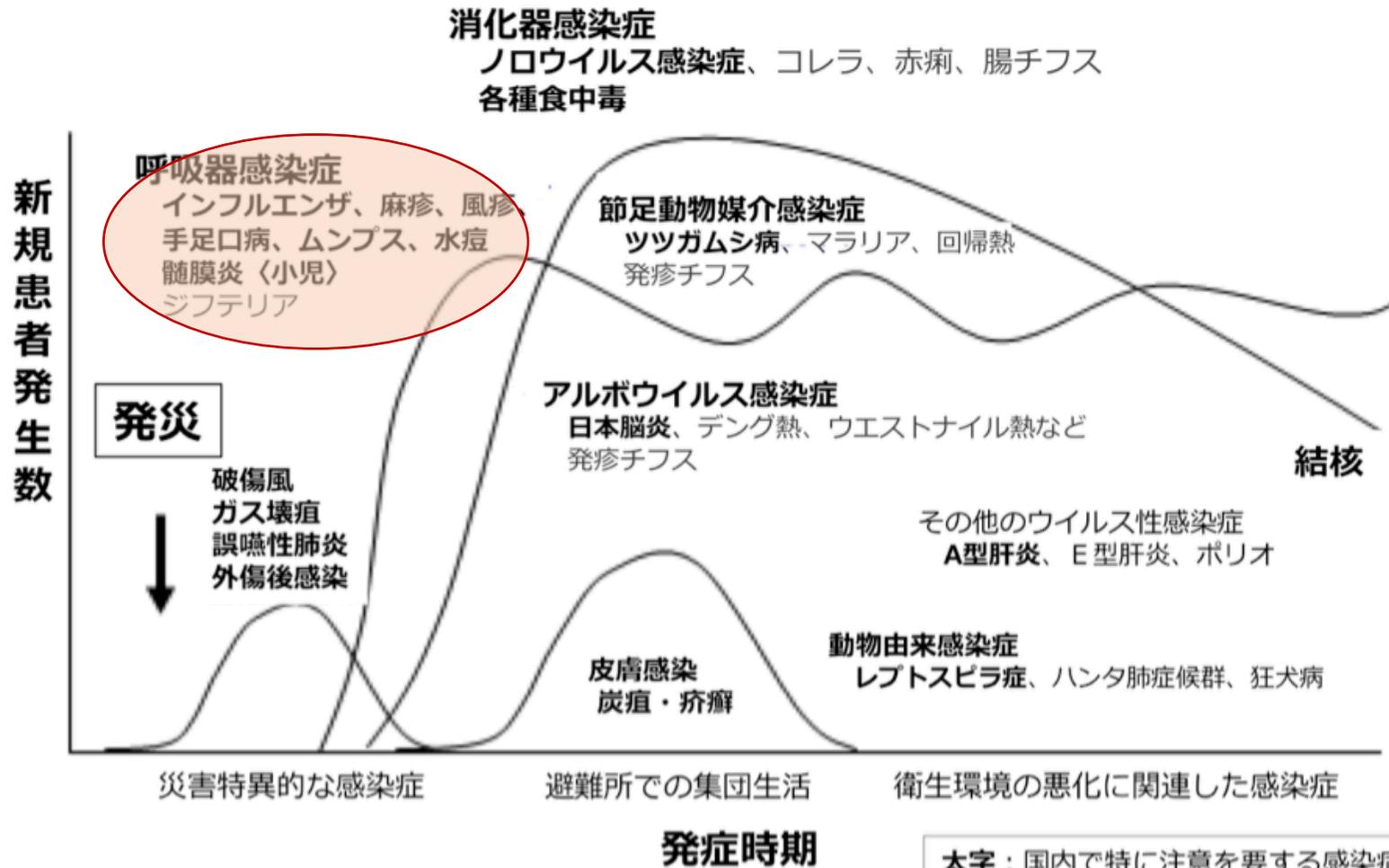
# 東日本大震災の際の環境感染学会の動き

③

感染症アウトブレイクであることから日本環境感染学会の理事長（当時）である、東北大学 賀来満夫先生に相談



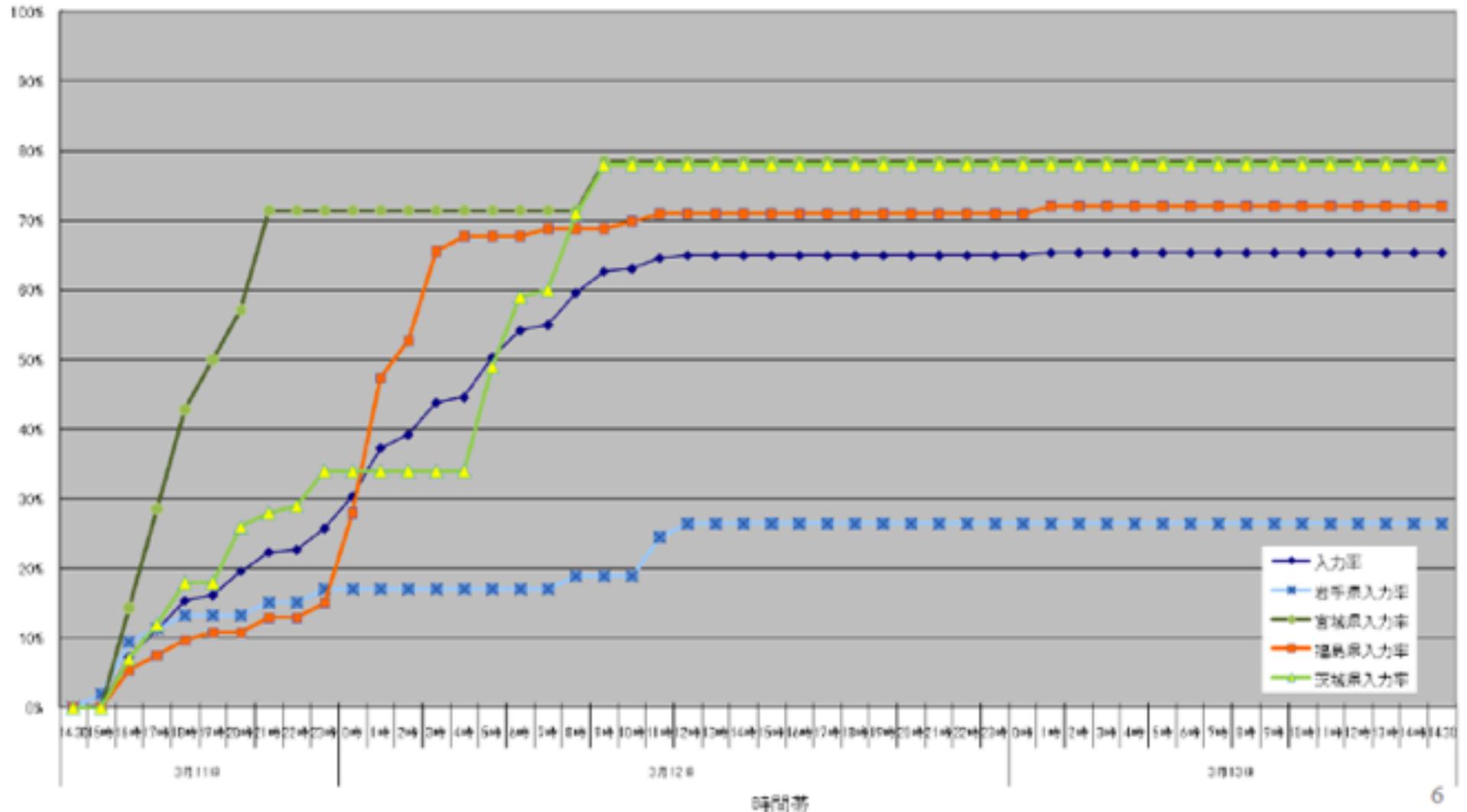
# 災害後に問題となる 感染症と発症（流行）時期



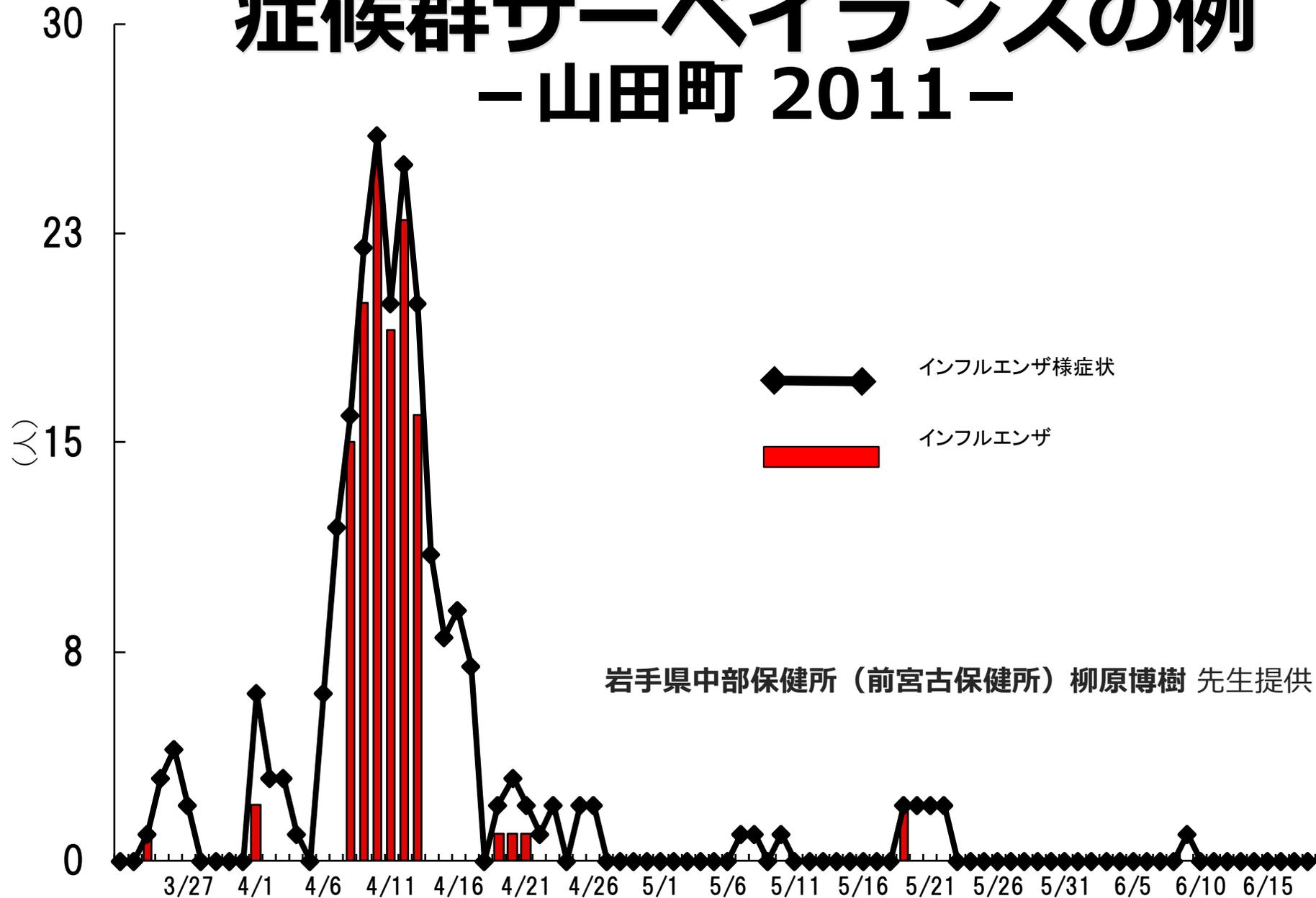
# 東日本大震災におけるEMIS入力状況

時間帯別入力率: 全国(全医療機関)

入力率



# 症候群サーベイランスの例 - 山田町 2011 -



岩手県中部保健所（前宮古保健所）柳原博樹 先生提供

# いわて感染制御チームの役割

地域防災計画の中に「動ける」しくみを織り込んでおく

区 分	活 動 内 容
流行探知 (サーベイランス)	<ul style="list-style-type: none"><li>① 避難所訪問 ▶ 毎日のモニタリング 依頼 (自治組織、保健師チーム、医療チーム等と連携)</li><li>② 継続的なデータ把握 ▶ 分析 ▶ 情報提供</li></ul>
発生抑止 (プリベンション)	<ul style="list-style-type: none"><li>① 避難所訪問 ▶ 避難所の状況アセスメント</li><li>② 衛生状況、衛生資材の不足等確認 ▶ 保健衛生指導、消毒薬調達等</li></ul>
拡大阻止 (インターベンション)	<ul style="list-style-type: none"><li>① モニタリング結果 ▶ アウトブレイクの兆候 ▶ 速やかな対処、実態把握 (ICAT又は保健所出動)</li><li>② 感染源等調査、必要に応じ隔離、消毒、予防投薬</li></ul>
情報提供 (インフォメーション)	<ul style="list-style-type: none"><li>① 避難所向け：感染症予防情報 (全避難所配布 &amp; 県公式HP掲載) (感染症発生動向、消毒方法、留意点 等)</li><li>② 医療救護班向け：感染症対策の暫定方針の明示 (隔離手順、抗インフルエンザウイルス薬の予防投薬 等)</li></ul>

# 県の組織として常設

## 2014年1月29日 常設



黄金の國、  
いわて。

文字サイズの変更 [縮小](#) [標準](#) [拡大](#) サイト内検索

[配色の変更](#) [音声読み上げ](#) [サイトマップ](#) [Foreign Language](#)

[トップページ](#)

[震災復興](#)

[くらし・環境](#)

[産業・雇用](#)

[県土づくり](#)

[教育・文化](#)

[県政情報](#)

現在の位置 : [トップページ](#) > [くらし・環境](#) > [医療](#) > [健康](#) > [ICAT \(いわて感染制御支援チーム\)](#) > いわて感染制御支援チーム (ICAT) の常設について



医療

» [健康](#)

» [健康づくり](#)

» [栄養改善](#)

» [歯科保健](#)

» [臓器移植、骨髄移植、造血幹細胞移植、人工透析](#)

» [ハンセン病関連情報](#)

» [難病 \(特定疾患\) 対策](#)

» [がん対策](#)

[読み上げる](#)

### いわて感染制御支援チーム (ICAT) の常設について

[ツイート](#) [シェア](#) 1

ID番号 N6557 更新日 平成26年1月30日

県では、東日本大震災津波時において、全国初の取組として県と協力して避難所等の感染制御対策に一定の成果を上げた感染制御支援チーム (Infection Control Assistance Team。以下「ICAT」。) について、今後の大規模災害等の健康危機管理事案発生に備え、常設とします。

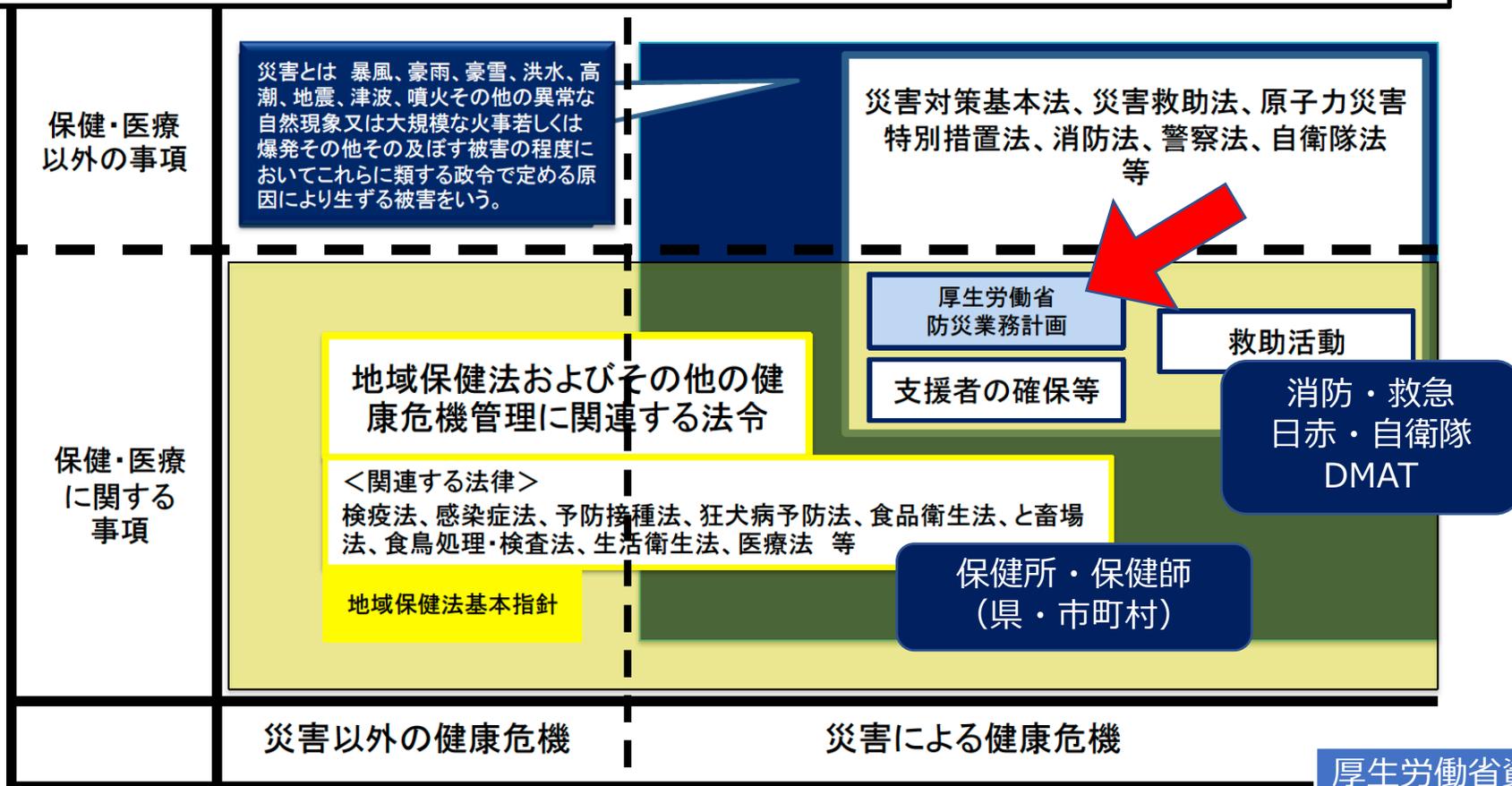
#### 背景・経過等

- 東日本大震災津波時において、県地域防災計画 (防疫計画) に基づく感染症対策が県及び市町村のみでは事実上困難な状況であったため、DMAT等を参考に岩手医科大学及び県立病院の感染制御の専門家のアドバイスを受けてICATを設置し、平成23年4月から8月にかけて避難所の巡回・監視、サーベイランス (感染症発生動向調査) を実施したほか、感染症発生予防、拡大防止等の措置を行った。
- ICATの活動は、統一的なサーベイランスの方法によって毎日報告を受けることにより、迅速な取組が有効に機能し、感染症の集団発生等は近県と比べても小規模 (30人程度2回) に止まるなど一定の成果を上げたところ。
- 今般、県地域防災計画 (防疫計画) の見直しにおいて、「専門家への支援の要請」が規定されたことを踏まえ、その実効性を担保するため、要綱及び要領を制定し、平常時から健康危機管理事案発生に備えるもの。

# 災害時における健康危機管理に 関連する法令の位置付け

○地域保健法の制定等により、現在、地域保健に関する事務の多くが市町村に委譲されており、健康危機管理についても市町村を起点とする対応の流れが想定されている。

○一方、東日本大震災では、被災地の市町村等の機能が低下し、地域保健活動の実施に当たった対応のあり方に関する課題が指摘されている。



# 厚生労働省防災業務計画

(平成29年7月)

## 第2編 災害応急対策

第2章 保健医療に係る対策 .....	34
第1節 被災地の状況把握 .....	34
第2節 被災都道府県における保健医療活動の総合調整の実施 .....	35
第3節 保健医療活動従事者の確保 .....	35
第4節 被災地における保健医療の確保 .....	37
第5節 公衆衛生医師、保健師、管理栄養士等による健康管理 .....	38
第6節 医薬品等の供給 .....	40
第7節 医療に関する外国からの支援 .....	41
第8節 防疫対策 .....	41
第9節 個別疾患対策 .....	42
第10節 公費負担医療に係る対応 .....	43

# 厚生労働省防災業務計画

(平成29年7月6日厚生労働省発科0706第2号修正)

## 第2編 災害応急対策

### 第2章 保健医療に係る対策

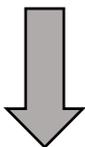
また、施設の管理者を通じて衛生に関する自主的組織を編成するなど、その協力を得て防疫に努めること。

- (5) 被災都道府県・市町村は、避難所等における衛生環境を維持するため、必要に応じ、日本環境感染学会等と連携し、被災都道府県・市町村以外の都道府県及び市町村に対して、感染対策チーム(ICT)の派遣を迅速に要請すること。
- (6) 被災都道府県・市町村は、保健医療に係る災害応急対策を実施している本部等に、感染症に関する十分な知見を有する医師等を常駐させるよう努めること。
- (7) 被災都道府県・市町村は、迅速に、避難所における衛生状態、防疫対策の実施状態等を把握し、保健医療に係る災害応急対策を実施している本部等に情報を集約させるよう努めること。

# 熊本震災の際の環境感染学会の動き（超急性期～急性期）

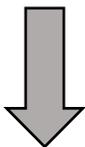
## 【阿蘇地区超急性期】

阿蘇エリアは熊本市との  
主要交通路が遮断

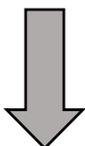


市町村

阿蘇保健所+阿蘇エリア担当  
DMATで形成された現地対策本  
部（ADRO）



現地にJMAT長崎大学附属病院チー  
ムに同病院感染制御教育センターの  
Dr.が参加していたことから、ADRO  
内に**感染制御の本部**を併設



同医師と学会連携医師が協力し阿  
蘇エリア避難所の感染対策を継続

## 【熊本県域急性期】

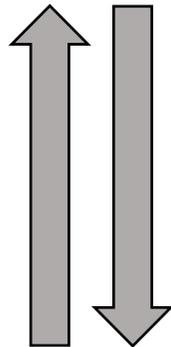
熊本県



5月2日 依頼  
避難所の感染制御

熊本県感染管理ネットワーク  
(熊本県内医療施設のICT団体)

調整本部に登録



熊本ICTメンバー自身が被災  
していたことと、勤務可能者  
は自施設での対応に追われて  
いたため、隣県のICT派遣に  
ついて検討

日本環境感染学会

学会関連の人材派遣・支援物品調達・配給を実施



一般社団法人 日本環境感染学会

Japanese Society for Infection Prevention and Control

# JSIPC DICT活動の今後

櫻井 滋

日本環境感染学会 災害時感染制御検討委員会  
岩手医科大学附属病院 感染制御部

いわて感染制御支援チーム (ICAT)

# 災害時医療の基本

---

- C : command and control 指揮, 統制
- S : safety 安全
- C : communication 情報伝達
- A : assessment 評価
- T : triage トリアージ
- T : treatment 治療
- T : transport 搬送

# 日本環境感染学会の対応（2）

（災害時感染制御支援チーム DICT の編成）

## CSCAを基本とする活動

- DICTの活動は避難所における「集団的感染症の未然防止支援」と「発生後の制御活動支援」とする。
- DICTの活動はメンバーの安全確保を最優先する。
- DICTの活動は現地ICTの支援を優先する。
- 医療行為は行わない。
  - ただし、予防接種など感染制御に必要な医療行為を除く

**医療機関ICTと同様、直接TTTに介入しないことが原則**



# DICTの組織機構

日本環境感染学会  
災害委員会\*

\*災害時感染制御検討委員会

日本環境感染学会  
PreDICT

日本環境感染学会  
統括DICT

日本環境感染学会  
支援DICT

日本環境感染学会  
LOGIST

迅速評価班

リエゾン派遣に係る学会独自の評価活動

調整本部リエゾン班<sup>†</sup>

<sup>†</sup>厚生労働省防災業務計画に基づく

被災地活動班

調整本部登録後の活動を想定

専用物資<sup>‡</sup>支援班

FCTへの直接供給を想定

PreDICT : Rapid Assessment Team

HQT : Head Quarter Liaison Team

FICT : Field Infection Control Team

LOGIST : Logistic Support Team

# DICTの役割分担

日本環境感染学会  
JSIPC

理事長または災害時感染制御検討委員会委員長の指示で災害時感染制御支援活動を開始する

日本環境感染学会  
DICT事務局

学会本部でDICT活動に関する事務的業務（連絡・共有・依頼・証明書や趣意書等の発行）を担う

日本環境感染学会  
PreDICT

DMAT活動開始基準に準じ、現地で編成または域外から派遣され、初期リスク評価を担う

日本環境感染学会  
統括DICT

RATの報告をもとに、現地ICTあるいは隣地ICTにより編成・派遣され、調整本部でリエゾン業務を担う

日本環境感染学会  
DICT UNIT

統括の調整により、受援ICTあるいは支援ICTにより編成・派遣され避難所での感染制御活動支援を担う

日本環境感染学会  
LOGIST

賛助企業チームに働きかけ、被災地ICTに対し直接感染制御支援活動用の物的支援を実施する

# DICTの構成員

日本環境感染学会

JSIPC

理事長または災害時委員会委員長（指示）

日本環境感染学会

DICT事務局

学会事務局（〒141-0022 東京都品川区東五反田5-26-6 池田山パークヒルズ 202号室 TEL：03-6721-9131/FAX：03-6721-9132）

日本環境感染学会

PreDICT

都道府県・ブロックごとに事前に統括DICTを指定  
登録DICTが活動困難な場合は委員会から派遣

医療調整本部付き

統括DICT

都道府県・ブロックごとに事前に統括DICTを指定  
登録DICTが活動困難な場合は支援DICT派遣

日本環境感染学会

DICT UNIT

都道府県・エリアごとにあらかじめICTを指定  
指定ICTが活動困難な場合は域外から派遣

日本環境感染学会

LOGIST

委員会が賛助企業チームの担当リエゾンに働きかけ  
ICT活動に特化した支援物資を調達

# 発災時の動き

日本環境感染学会  
JSIPC

発災

日本環境感染学会  
DICT事務局

DMAT展開の情報を入手し、コアメンバーで派遣検討

日本環境感染学会  
PreDICT

ブロックごとのICTと連携して  
被災地の対策本部を訪問しDICT待機を伝達

日本環境感染学会  
統括DICT

被災地医療調整本部の要請を受けて  
委員会から対策本部リエゾン（統括DICT）派遣

日本環境感染学会  
DICT UNIT

統括DICTの指示調整を受けてUNIT編成  
受援DICTが活動困難な場合は域外から支援派遣

日本環境感染学会  
LOGIST

委員会が賛助企業チームの担当リエゾンに働きかけ  
現地DICTに特化した支援活動用の物資を調達

# DICTの組織機構図

# DICTの組織機構図

災害救助法・防災業務計画

災害時感染制御検討委員会

DICT 事務局

迅速評価班 (PreDICT)

DICT 登録者

DICT登録医療機関：ブロック統括 (BA)

アクティブメンバー (AM)

リザーブメンバー (RM)

DICT ユニット

技術物資支援メンバー

ユニットリーダー

賛助企業統括

ユニットメンバー

賛助企業メンバー

# DICTの組織機構図

JSIPC 理事長

災害時感染制御検討委員会



DICT 事務局

迅速評価班 (PreDICT)



# DICTの組織機構図

JSIPC理事長

災害時感染制御検討委員会

DICT 事務局

迅速評価班 (PreDICT)



## DICT 登録者

ブロック統括 (BA)

DICT登録医療機関：統括DICT登録者 (AD)

アクティブメンバー (AM)

リザーブメンバー (RM)

DICT ユニット

技術物資支援メンバー

ユニットリーダー (UL)

賛助企業統括

ユニットメンバー (UM)

賛助企業メンバー



# ブロック内（隣県）支援のイメージ

DICTブロック統括（BA）

DICT登録医療機関：統括DICT登録者（AD）

+ アクティブメンバー（AM）



ブロック内被災地に派遣される支援 DICT ユニット編成

ユニットリーダー（AD） = 統括DICT登録者（AD）のICD

ユニットメンバー（UM） = DICT登録医療機関のDICT-AM

- ・ 感染制御医（ICD） 1名
- ・ 感染管理認定看護師（CNIC） 1～2名
- ・ 感染制御専門/感染制御認定薬剤師（ICPS, PCI）  
or 感染制御認定微生物検査技師（ICMT）  
or ICT経験のある歯科医師（ICDD） 1名
- ・ 業務調整・連絡員 1名

# ブロック外支援のイメージ

被災ブロック外のDICTブロック統括 (BA)

DICT登録医療機関：統括DICT登録者 (AD)

+ アクティブメンバー (AM)



ブロック外被災地に派遣される支援 DICT ユニット編成

ユニットリーダー (AD) = 統括DICT登録者 (AD) の ICD

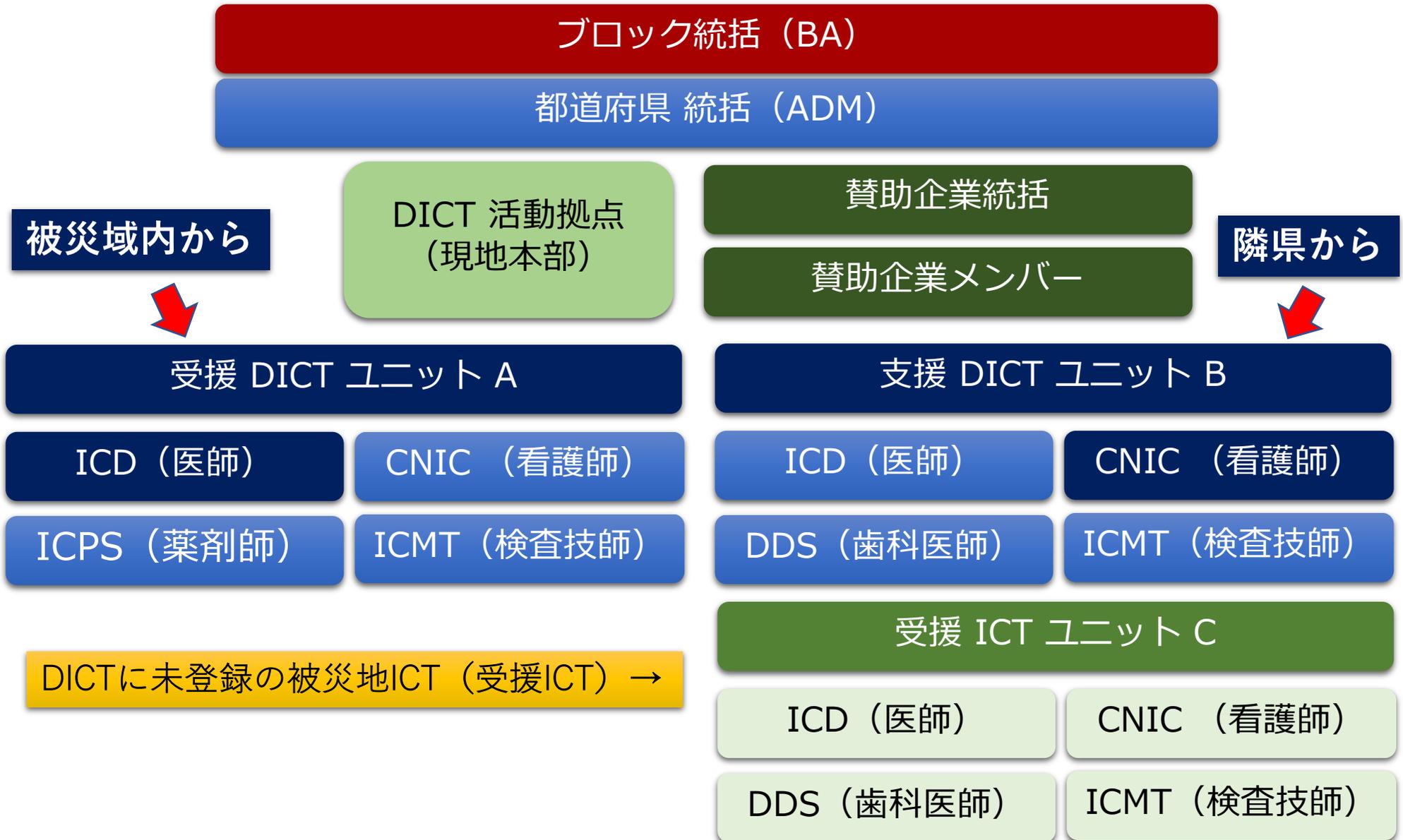
ユニットメンバー (UM) = DICT登録医療機関のDICT-AM

- ・ 感染制御医 (ICD) 1名
- ・ 感染管理認定看護師 (CNIC) 1~2名
- ・ 感染制御専門/感染制御認定薬剤師 (ICPS, PCI)  
or 感染制御認定微生物検査技師 (ICMT)  
or ICT経験のある歯科医師 (ICDD) 1名
- ・ 業務調整・連絡員 1名

# DICTの地方ブロック 都道府県DICTの構成

- 北海道ブロック：北海道
- 東北ブロック：青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県，新潟県
- 関東ブロック：茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県
- 中部ブロック：富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，  
愛知県，三重県
- 近畿ブロック：滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県
- 中国ブロック：鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県
- 四国ブロック：香川県，愛媛県，徳島県，高知県
- 九州・沖縄ブロック：福岡県，佐賀県，大分県，長崎県，熊本県，宮崎県，  
鹿児島県，沖縄県

# 支援DICTの組織機構図



# 泉川先生講演資料



# 加來先生講演資料（1）



# 加來先生講演資料（2）



# 川口先生講演資料

